

シンポジウム

教育実践学としての社会科授業研究の探求 —授業研究のパラダイムシフト—



日時 2015年 3月 22日 (日) 13時00分～17時終了予定
会場 連合大学院・大阪サテライト (大阪大学中之島センター) 406 多目的室
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 (JR大阪環状線福島駅徒歩12分)

趣旨 本プロジェクトでは、従来の授業研究の検討を通して、社会科教育の立場から、新たな時代にふさわしい「教育実践学」の構築を目指してきた。社会科授業研究の問題点は、**授業理論の実証性**、**授業評価の有効性**、**教師の授業力形成**、**授業研究における研究者と実践者の関係の在り方**の4点に集約される。社会科授業研究は、従来の研究の再検討を踏まえたパラダイムシフトが求められている。シンポジウムでは、**教育実践と学術研究の双方を視野に入れた新たな社会科教育実践学の構築**に向けた提案を行う。そして、本プロジェクトの示す社会科授業研究のパラダイムの妥当性について、参加者全員で討議を通じて検討することにしたい。

プログラム

- 13:00-13:20 開会挨拶・趣旨説明 梅津正美(鳴門教育大学)
- 13:20-14:40 シンポジウム
コーディネーター 伊藤直之(鳴門教育大学)・中本和彦(四天王寺大学)
- I. 成果発表
1. 「授業開発」研究についての新しい提案
(1) 森才三(広島大学附属福山中・高等学校)・桑原敏典(岡山大学)
(2) 祐岡武志(奈良県立法隆寺国際高等学校)・原田智仁(兵庫教育大学)
 2. 「授業評価」研究についての新しい提案
紙田路子(島根県浜田市立松原小学校)・峯明秀(大阪教育大学)
 3. 「授業改善」研究についての新しい提案
大西慎也(兵庫県淡路市立北淡小学校)・米田豊(兵庫教育大学)
- 15:00-16:50 II. ディスカッション
指定討論者 吉水裕也(兵庫教育大学)
- III. 本研究のまとめ～社会科授業研究の課題と展望～
コメンテーター 梅津正美(鳴門教育大学)・権五鉉(大韓民国慶尚大学校師範大学)
- 16:50-17:00 閉会挨拶 原田智仁(兵庫教育大学)